

# 財政学

平成16年度後学期  
水曜日 1限  
金曜日 3限

## テキスト

小塩隆士『コア・テキスト 財政学』 新世社

参考文献：テキストの263～264ページに解説がありますので参考にしてください。

## 第1章 財政とは何か

### 1.1 市場と政府

政府や公共部門とは何をさすか

政府はなぜ必要か

政府の経済活動としての財政の役割は何か

### 1.2 資源配分機能

市場メカニズムが効率的資源配分を達成できない状況を「市場の失敗」という

資源配分機能は、この市場の失敗を補強するための政府の機能である

市場の失敗の原因：外部経済効果、公共財、情報の不完全性、費用逓減

### 1.3 所得再分配機能

市場で決まる所得分配が社会的に公平な所得分配である保証はない

所得再分配機能は、公平な所得分配を達成するための政府の機能である

### 1.4 経済安定化機能

市場経済では、完全雇用や安定成長が達成される保証はない

経済安定化機能は、完全雇用を含め、経済の安定成長を達成するための政府の機能である

### 1.5 「大きな政府」対「小さな政府」

サービス享受と費用負担の関係はコインの表裏の関係である

高福祉と高負担、低福祉と低負担との間のどこを選択するかが問題となる

## 第2章 財政制度

### 2.1 予算の仕組み

民主主義国家では、財政も民主的に運営されねばならない

財政民主主義の根幹に関わる部分は憲法第7章に規定され、具体的な制度については

財政法、会計法などで規定されている

予算の機能

予算原則

### 2.2 予算の編成・執行・決算

予算の編成から執行、決算に至るまでの過程はどうなっているか

予算編成過程に、政党、内閣、議会（国会）、各省庁はどのように関わっているか

### 2.3 財政投融资

財政投融资とは何か

財政投融资が第2の予算とよばれる理由は何か

### 2.4 日本の財政運営：外観

均衡財政主義（均衡予算原則）、均衡財政主義からの転換、財政再建と行財政改革、財政構造改革

## 第3章 財政収支

- 3.1 財政収支とは  
財政収支と IS バランス
- 3.2 財政赤字の要因  
循環的財政赤字と構造的財政赤字
- 3.3 財政赤字の問題点  
プライマリー・バランス  
財政破綻の可能性
- 3.4 財政のバランスシート  
バランスシートを作成する意義  
現金主義と発生主義
- 3.5 世代会計  
世代会計の意義

## 第4章 公共財

- 4.1 公共財とは何か  
公共財の特徴  
排除不可能性、非競合性  
公共財はなぜ政府が供給するのか  
私的な公共財供給、公的な私的財（民間財）供給
- 4.2 公共財の最適供給  
最適供給（効率的供給）の条件  
$$\text{各個人の限界便益の総和} = \text{限界費用}$$
- 4.3 リンダール均衡  
リンダール均衡の効率性  
自発的交渉の問題点
- 4.4 公共財の過小供給と過大供給  
ただ乗りの問題、受益者負担の限界  
住民、政治家、官僚の行動
- 4.5 多数決と公共財の供給  
多数決による供給は効率的供給の条件を満たすか  
NPO（非営利組織、非営利団体）
- 4.6 費用 - 便益分析  
費用や便益をどこまで含めるか  
費用や便益をどのように評価するか

## 第5章 税

- 5.1 税の種類と基本原則  
直接税と間接税、何に課税するか、課税の基本原則
- 5.2 税の誘因効果  
労働供給、貯蓄、投資

- 5.3 税の超過負担  
税の超過負担とは何か
- 5.4 税の転嫁と帰着および超過負担：個別消費税の場合  
税の転嫁と帰着とは何か
- 5.5 ラムゼイのルール  
逆弾力性ルール  
ラムゼイのルールの意義と限界

## 第6章 所得分配

- 6.1 所得再分配をどこまで進めるか  
なぜ所得再分配が必要か  
公平性の観点からの価値判断  
功利主義基準、能力基準、公正基準、平等基準
- 6.2 税と補助金による所得再分配  
最適所得再分配
- 6.3 所得再分配をめぐる諸問題  
最低所得基準の設定  
現物給付と現金給付

## 第7章 公債

- 7.1 公債の負担にかんする伝統的な議論  
公債の負担とは何か  
公債発行のどこに問題があるのか
- 7.2 公債の中立性（1）  
リカードの等価定理
- 7.3 公債の中立性（2）  
バローの中立命題
- 7.4 公債の中立性の政策的意味合い  
公債残高の累積の問題点
- 7.5 公債の中立性が成立しない場合  
公債の中立性が成り立たなくなる条件  
中立命題はどこまで成り立っているか

## 第8章 社会保障

- 8.1 社会保障とは何か  
社会保障の必要性  
リスク・プーリング機能、リスク軽減機能、最低生活の保障  
政府が関与する必要性
- 8.2 社会保障の財源と所得再分配  
保険料か税か  
世代間の所得再分配

### 8.3 公的年金 ( 1 ): 制度と目的

公的年金の制度と役割

### 8.4 公的年金 ( 2 ): 経済学的特徴

2 期間モデル

積立方式と賦課方式

### 8.5 年金改革

二重の負担

積立方式か賦課方式か

## 第9章 地方財政

### 9.1 地方財政の役割と仕組み

国と地方はどのように役割分担すべきか

### 9.2 地方財政支出

地方分権定理

### 9.3 地方税

地方税は何に課税すべきか、国税と同じでよいか

地方税の原則

### 9.4 国から地方への財源移転

国から地方への望ましい財源移転のあり方はなにか

財源調整、財政調整、補助金のあり方

財源移転制度 ( 地方譲与税、地方交付税、国庫支出金 ) のありかた

地域間格差はどこまで是正すべきか

### 9.5 地方債

国債と地方債はどこが違うか

## 第10章 マクロ経済と財政

### 10.1 45 度線と乗数効果

有効需要原理、乗数効果

### 10.2 IS-LM 分析と財政政策

財市場の均衡、貨幣市場の均衡

均衡国民所得と完全雇用

完全雇用を達成するための財政金融政策

開放経済の下での政策効果

### 10.3 ケインズ派の財政政策に対する批判

古典派モデルと完全雇用

自然失業率仮説

合理的期待形成仮説

サプライサイドの経済学